

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第6号

ななえ古写真物語 VOL. 6

歴史古き温泉宿 ~留ノ湯温泉~

温泉の歴史は江戸時代からか？
写真は旧留ノ湯温泉宿の様子
昭和40年代に撮影か？



現在、東大沼にある留ノ湯温泉の歴史は古く、寛政3年に菅江真澄が蝦夷地を旅行した時に記した「えそのてぶり」に、鹿部を訪れたくだりがありその中に「山奥にトメの湯とて又よき湯あり」という記述があることから、留ノ湯はさらに古くからその存在を知られていたと思われます。

また、安政4年に庵原函齋によって記された「蝦夷地土産」では「駒ヶ岳といえは一名内浦が岳又の名は茅部岳と呼び、内浦のウチカケ「カヤベナイ」といえる場所において有名の霊山なり・・・(中略)安政三年火の丙辰八月二十六日暁、いづくともなく振動することおびただし、鹿部、本別、亀泊辺或は留ノ湯温泉も浴せる人々、何れも函館地方大地震ならんなど余所事の様に思いしに、昼九時頃駒ヶ岳の方に当たり雷鳴の如く大なる響あり。・・・(中略)留ノ湯温泉にて湯浴みせるもの凡二十二人、前条の如く火付たる石礫、土砂疾風に急雨雹霰を送るが如く飛来暫時の間に積もること三丈余、其上崖崩れ沸騰せる湧口二、三カ所出来せり・・・」と、安政3年に起こった駒ヶ岳大噴火の惨状や被害状況を如実に描いています。

大正5年に発行された七飯村史には、「明治三年久保田七右工門ノ発見ニ係リ今尚同人ノ経営スル処ナリ附近民家稀疎寂寥ノ地ナリト雖モ景色勝レ保養ニ適スル境ナリ大沼驛ヲ去ル約二里鹿部道路に沿フテ交通便ナリト雖モ浴客未だ多カラズ」と記されており、当時の温泉旅館経営の由来について知ることができます。

また、明治44年に発行された「北海道名勝誌」の大沼公園の項目には「(中略)湖水東二落チテ留ノ瀧トナル其傍ニ留ノ湯アリ附近に函館水電株式会社発電所アリ・・・(中略)」と記されており、留ノ湯の近くに、「留ノ瀧」と呼ばれる滝があったことが伺えます。現在、留ノ瀧は何らかの要因で見ることが出来なくなっただと思われますが、東北大学で所蔵する絵葉書に、その風景が描かれているものがあり、とても興味深い資料と考えています。

現在も、自然と緑に囲まれた温泉宿として健在する留ノ湯は、遙か昔からその存在が知られ、幾度かの駒ヶ岳の噴火を経験しながらも、多くの湯浴み客の心と体を癒し続けています。出来ることなら、この記事をご覧の皆様の中に「留ノ瀧」について詳しい方がいらっしゃいましたら、ご教示頂ければ幸いです。

11日

大沼の自然観察会が開催されました。今年は約30名が参加しました。野鳥の先生方3名の引率で、3つのグループに分かれ観察開始。約2時間ほど観察し、キビタキやアリスイなど30種ほどの野鳥を観察することができました。朝はチョット早かったですが、清々しい一日になったのではないかと思います。講師の先生方、忙しい中ありがとうございました。



熱心な小学生の参加もありました



プラウは、七飯に伝わったものが、日本で初めてだとわれています。

馬の係です。とても重い!



日本の伝統農具クワも使いました。



七飯発祥の男爵薯を植えています。たくさん実るといいね。



24日

ジュニア探検クラブで「農業に挑戦!」と題し、畑つくりと男爵薯植えを行いました。

歴史館駐車場の向かい側にある空き地を利用し、七飯町が日本における西洋農業発祥の地であることから、西洋式農器具のプラウやハローを使って畑を作りました。本来は、牛馬の力を借りるこの道具ですが、牛や馬を準備できなかったため、代わりに児童たちに引っ張ってもらいました。意外に重かったようです。

また、男爵薯は七飯町で誕生し今年で100年となるのを記念して植えたのですが、その歴史について学芸員からお話があり、実際に植えました。秋にはたくさん収穫できるといいですね。

収蔵展「ムカシノドウグ展」2が開催されました。

収蔵展「ムカシノドウグ展2」が無事終了しました。展示期間中、多くの来館者にご覧頂き誠にありがとうございます。特に、児童を対象に設けた「触れてみようのコーナー」では、鯉節削り器や薬研が人気だったようで、中には、何度も通い技術を高めた(笑)子もいました。

来年も趣向は違うでしょうが、同様の展示をする予定ですのでご期待下さい。



人気のあった触れてみようのコーナー

7月の予定

1	火
2	水 夜の博物館
3	木
4	金
5	土
6	日
7	月
8	火 企画展「Bird」 OPEN予定
9	水
10	木
11	金
12	土
13	日 企画展関連事業 ミュージアムトーク
14	月
15	火
16	水
17	木
18	金
19	土 ロビー展 OPEN予定
20	日
21	月 昆虫採集教室(予定)
22	火
23	水
24	木
25	金
26	土 ジュニア探検クラブ「縄文探検」
27	日 ふぁみりーでいみゅーじあむ
28	月
29	火
30	水
31	木

7月の休館日はありません。

野草園が色付きました。

少しずつですが、野草園に花が咲いています。そろそろシャクヤクなども咲きますので、ご来館の折には、是非ご覧ください。(S)



編集後記 ~tawagoto~

先日、屋外調査ということで、職員2名で峠下にある台場山まで足を運びました。熊に出会わないように拍手(?)をしながら笹藪をかき分け、目的地へ到達。台場の状況を確認し、一服したのち下山。途中、咲いていたシラネアオイという花に、気持ちをチョット癒されながら無事帰路につく・・・はずだった。ところが、帰りの車中でズボンに付着する大量のダニを発見!改めて自然の恐ろしさを感じた一日でした。(やまだひさし)

Richard ~ピチャリ~ 第6号

平成20年6月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町568-6

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp